成果の説明書

(氏名) 内山　知一	(学部) 経済学部

1　重要事項

まずはじめに、教員免許プログラムでは、初期段階の各種連絡の徹底、必須事項である実習にむけた準備、より有効な履修順や所属ごとの相違の確認などのために、新入生段階を含む各段階のオリエンテーションで説明に努めた。加えて、これらの事項は、かなり履修者ごとに認識の差があるため、オリエンテーションだけでなく、個々にメールや個別相談、掲示などで繰り返し主旨の徹底を図り、円滑に履修がすすむよう支援できた。刻々と変わる時代状況も反映し、現場では、授業やその他生徒に影響があるところで種々の変更がなされており、特に感染症防止の施策以降は、さまざまな場でこれまでの常識が変わり、現在もなお元に戻っていないところもある。他方、そのような流れとは別に、資質面では、その特質上、根幹のところで現在も変わらず身につけておかなければならないものもある。その両面を念頭に置き、プログラム受講者には種々の時機をとらえて現場で最低限求められる心がまえやスキルの涵養に努めた。また、免許課程の過去の受講履歴などを記録・把握できる履修カルテでも記載の確認・支援をし、各段階での履修状況を個々のレベルで振り返り、これまで得てきたものを糧に自らの課題を克服し見識を磨くきっかけにできた。さらに、複数の委員の仕事に従事し、円滑な講義の開講や受講で生じた諸問題の解決などに貢献できた。

次に、これまでの積み重ねの上に、研究面では、資料をさまざまな観点を踏まえ幅広く求め、テーマをさらに深く検討し掘り下げられた。特に、発問や意見交換の時に、ある程度同じ土台の上で意義あるやり取りを生み出すための条件・方法・前提・留意事項などを吟味し示唆を得た。以後、さらに、方法ごとのマイナス・プラス面を踏まえ、いかにそれらを組みあわせながら、マイナス面を減じプラス面を伸ばせるか、それぞれのねらい・効果・順序なども意識し検討を重ねたい。

2　その他の事項

3　次年度以降の計画・抱負

これまでは、時代の変遷のなかで、適宜、更新される現場の状況や修正される免許プログラムを踏まえて有効な力をはぐくめるよう、各種オリエンテーションや個別相談、講義などで、適宜、説明・支援にあたった。また、プログラム担当者が相互にコミュニケーションを取ることで現状を確認し、種々の問題解決に取り組むことができた。以後もこれらの点に加え、これまで見落としがちであったより細かな事項も含め、変わりゆく点と引き続き重きをおかなければならない点を特に意識し、受講者のサポートに努める。また、授業や生徒との貴重な交流などで自らの力量を高められる現場での経験がより有効で意義あるものとなるよう、派遣前に各自が抱える課題の解決に取り組ませ、将来の困難を乗り越えるための力を身につけさせたい。次に、研究面では、引き続き、幅広い観点での各種資料の獲得・整備に努め、隣接領域も含めテーマの検討をより深める予定である。特に、これまでの蓄積も踏まえ、方法の組み合わせ方にも焦点を当て、発

問・意見交換の時に扱う資料の豊富さ・質と各方法でのそれらの配置も意識し、より精緻に吟味を重ねる。